

小規模クリニックが黒字化するための実践メソッド | 経営資源を活かす 6 つのステップ

——— 小規模クリニックの黒字化は「リソースの活かし方」で決まる ———

医療制度の変化や人材不足、コスト増加の中で、小規模クリニックが安定した経営を維持するには、「**限られた経営資源**」をどう活かすかが鍵になります。

今回は、在宅医療支援のメディカルラボが提案する「**クリニック黒字化メソッド**」6 つのステップをご紹介します。

① 経営資源の棚卸しから始める

まずは自院が持つ「経営資源」を正確に把握します。

経営資源とは、ヒト・モノ・カネ・情報・信用の 5 要素です。

資源分類	例
ヒト	医師・看護師・スタッフの経験や信頼関係
モノ	医療機器・在宅車両・クリニック設備
カネ	キャッシュフロー・補助金・投資余力
情報	患者データ・地域連携・DX 活用
信用	口コミ・紹介元・地域での評判

この「棚卸し」により、自院の“強み”が明確になります。

② 強み領域への集中と選択

すべてを広く浅く行うのではなく、「**収益につながる領域**」へ集中することが重要です。

- 在宅医療中心 → 集金効率と移動効率を徹底改善
- 外来中心 → 自費診療・健診メニュー拡充
- 高齢者層中心 → 介護連携・後発薬活用・算定加算の最適化

③ 固定費を変動化して損益分岐点を下げる

固定費を軽くすることが黒字化の最短ルートです。

- 非常勤・委託スタッフの活用
- 会計・請求・経理のアウトソース化
- システム導入による人件費削減
- オンライン面談・リモート対応で交通費カット

1 か月の固定費を 50 万円削減できれば、年間 600 万円の利益改善に。

④ 収益ドライバーを可視化する

利益を生む要素を数値で管理します。

指標	内容	改善施策例
患者単価	1 人あたりの診療報酬	加算の最適取得・自費メニュー導入
患者数	延べ件数	紹介体制・口コミ・地域 PR
リピート率	継続通院割合	LINE 予約・定期フォロー
稼働効率	スタッフの稼働率	業務効率化・DX ツール導入

⑤ 外部パートナーを活用して不足を補う

小規模クリニックこそ、**外部との協働**が成果を左右します。

- 医療費あと払いシステム → 集金リスク削減
- 経営診断・数値分析サービス → 改善ポイントの発見
- IT・DX 連携 → 会計・請求業務の自動化

⑥ 数値モニタリングによる継続改善

経営の「見える化」が黒字化の決め手です。

月次損益・在宅件数・単価・稼働率などを可視化し、改善 PDCA を回せる仕組みを導入しましょう。

メディカルラボの支援プログラム

メディカルラボでは、地域医療を支える小規模クリニック向けに黒字化経営を、実務的にサポートいたします。

【お問い合わせ】

在宅医療・経営支援に関するご相談はお気軽に。

[公式サイト URL] [こちらから](#)